

医療法人財団慈生会 野村病院 入院された患者様へ

野村病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は野村病院に入院された患者様の入退院経路等明らかにし在宅医療提供体制を考えるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

対象となる方	2022年4月1日から2023年3月31日に野村病院一般急性期病棟（野村病院内科・総合診療部門）に入院した65歳以上の方
研究課題名	一般急性期医療機関における高齢者の入退院経路の解析と課題 (倫理委員会承認番号 J2023-006)
単独・他施設	医療法人財団慈生会 野村病院 単施設研究
主任研究者	医療法人財団慈生会 野村病院 佐藤文哉
本研究の目的	一般急性期病院の高齢入院患者様の入退院経路を明らかにし、その患者背景と疾病構造の検討から必要とされる在宅医療提供体制を考えます。DPCデータのうち介護認定、入院経路、退院先、主傷病名について検討します。
研究の背景	北多摩南部地域医療圏の一般急性期医療機関には、高度急性期からの高齢者の転院や救急搬送が多く、退院先の調整にしばしば難渋することがあります。在宅診療の充実が進められていますが、独居高齢者や、老々介護による介護力低下などで、急変時には多くが救急搬送されている現状があります。一般急性期医療機関における高齢者の入退院経路について解析することの意義は大きいと考えます。
利用する情報	年齢・性別・介護認定・入院経路・退院先・主傷病名等
研究実施期間	病院長承認日～2026年3月31日
個人情報の取り扱い	解析開始時より、すべてのデータは、受診者氏名、ID、住所などの個人情報を削除した上で、管理を行います。受診者IDなどの情報をつなぐ本研究固有番号を付し、その相互表は診療部(内科・総合診療部門 所属) 病院長の佐藤文哉の責任で、ウイルスソフトがアップデートされ、パスワードのかかるPCにて管理し、持ち出さないものとします。相互表は研究終了後5年間保管され、その後に破棄されますが、個人が特定できない、匿名化された情報、研究の解析結果は破棄されません。 個人情報が削除されたデータもウイルス対応ソフトをアップデートし、パスワードのかかったパソコンでのみ使用しますが、個人情報が削除されたデータは統計解析や英文校正等の目的で外注業者にデータを送る場合があります。得られた研究成果を科学的立場で公表する場合には、受診者様が同定される個人情報は一切公表しません。
研究の方法等に関する資料の閲覧について	本研究対象者の方とそのご家族の方で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。
相談窓口 お問い合わせ先	医療法人財団慈生会 野村病院 佐藤文哉 電話 0422-47-4848 (代表)
備 考	